

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 2026年度 基本資料

基本資料 (基本方針・基本計画・事業計画)

基本方針

創造的な決断が
幸せな北海道への道を切り拓く

基本計画

1. 希望溢れる未来の実現に向けた政策の発信
2. 日本を取り巻く平和の実現に向けた環境構築
3. 持続可能な地区大会の研究と検証
4. 不確実な未来に希望を照らすレジリエンスの強化
5. 協議会の情報統括と仕組みの構築
6. 運動発信の最大化と組織運営の円滑な遂行
7. ブロックとの総合連絡調整の強化と会員利益の増進

事業計画

日本青年会議所が、地区協議会と連携する事業

1. 有事に備えた災害ネットワークの強化に関する事業の企画・実施
2. 第4回全国高校生政策甲子園に向けた地区予選の開催
3. JCカップU-11少年少女サッカー国際大会に向けた地区予選の開催
4. Leader's Academyの支援

日本青年会議所が、地区を経由してブロック協議会と連携する事業

1. FCP(Family Continuity aplan:家族継続計画)の導入に向けた運動の推進
2. 日常から始めるカーボンニュートラル推進事業
3. ブロックアカデミーにおけるJAYCEE育成カリキュラムの運用支援

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会
2026年度委員会構成(委員会・事務局)

【1】北海道地区協議会(7委員会)

| 委員会名及び活動概要 | 手段 | 経費概算 | 備考 |
|------------|----|------|----|
|------------|----|------|----|

(1) 地方経済創生委員会

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1、HOKKAIDO EXPO2026の実施 | 3~4月 |
| 2、第4回全国高校生政策甲子園に向けた地区予選の開催【地区連】 | 7~8月札幌 |
| 3、地域経済再構築モデルの調査・研究・発信 | |

(2) グローバル北海道委員会

- | | |
|---|--------|
| 1、北方領土問題解決に向けた調査・研究・実施 | |
| 2、北方領土返還要求運動を推進する事業の開発 | |
| 3、第57次北方領土返還要求現地視察大会の企画・実施 | 7月根室 |
| 4、JCカップU-11少年少女サッカー国際大会に向けた地区予選の開催【地区連】 | 5~6月支援 |

(3) 北海道強靭化委員会

- | | |
|--|------|
| 1、有事に備えた災害ネットワークの連携強化に関する事業の企画・実施【地区連】 | 2~3月 |
| 2、EDPの推進に関する情報提供とブロック支援【プロ連】 | |
| 3、防災リーダー育成事業の企画・実施 | |
| 4、地域のレジリエンス向上に関する調査・研究 | |
| 5、地区・ブロック協議会・LOMとの連携による災害支援の展開 | |

(4) 地区大会運営委員会

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1、第75回北海道地区苫小牧大会の企画・運営 | 9月苫小牧 |
| 2、第75回北海道地区大会主管LOMとの連絡・調整 | |
| 3、第76回北海道地区大会主管LOMIに関する調査・連絡・調整 | |
| 4、第77回北海道地区大会主管立候補地の募集・調査 | |
| 5、次代の持続可能な北海道地区大会の方針の研究と検証 | |

(5) 総務委員会

- | | |
|---|--|
| 1、北海道地区協議会の会員会議所会議・諸会議の傑出的かつ的確な設営 | |
| 2、諸事業議案の精査 | |
| 3、日本JC議案上程システム(アジェンダシステム)の運用 | |
| 4、電子要覧の管理・運営 | |
| 5、北海道地区協議会及びブロック協議会の情報を統括し、共有する仕組み構築と採番発行業務 | |
| 6、北海道地区協議会の適格かつ効果的な運営に伴う事務局との連携 | |

(6) 規則審査特別委員会

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1、コンプライアンスの周知徹底と諸事業及び議案の審査 | |
| 2、本会、規則審査会議との連携 | |
| 3、北海道地区協議会の適格かつ効果的な運営に伴う事務局との連携 | |
| 4、監査担当役員・内部会計監査人との連絡・調整 | |

(7) 広報専門委員会

- | | |
|------------------------------------|----|
| 1、協議会の運動を円滑に遂行するための各諸大会における専門業務の実施 | 通年 |
| 2、Leader's Academy事業の企画・実施【地区連】 | 5月 |
| 3、総合連絡調整機関としてのブロック支援窓口の強化 | |
| 4、関係諸団体との連携・調整 | |
| 5、全道各地会員会議所の情報伝播から未来に繋がる広報支援の構築 | |

(8) 財政特別委員会

- | | |
|-------------------------|--|
| 1、会議・委員会会計の指導 | |
| 2、年度予算案、年度末決算案の審議 | |
| 3、諸事業の予算及び決算の審査 | |
| 4、北海道地区協議会の中長期財政ビジョンの検証 | |
| 5、監査担当役員・内部会計監査人との連絡・調整 | |
| 6、規律ある財政の管理からなる費用対効果の向上 | |

公益社団法人 日本青年会議所 北海道地区協議会
2026年度 役員の任務内容について

■会長

本協議会を代表して業務を執行する。
役員会議を招集し、かつ議長となり、会議の運営にあたる。

本協議会の当該年度の予算及び事業計画の立案と、実施した結果の報告をする。
地区内に所在するブロック協議会に関し管理責任と指導権限をもつ。

■直前会長

当該年度の事業報告及び会計報告を行うほか、本協議会の諸会議の内容や運営について助言を行う。

■監査担当役員

業務の執行及び会計の状況を監査するほか、諸会議において意見を述べる。
必要な会議に出席し、会計の状況を監査を行う。

■内部会計監査人

監査担当役員を補佐し、地区協議会の業務執行及び、会計状況の監査補助にあたるほか、
本協議会の諸会議に出席し意見を述べる。

■顧問

本協議会の諸会議の内容や運営について助言を行う。
正副会長会議に参加し、各事業の内容の方向性について助言を行う。

■副会長(ブロック担当副会長)

会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
北海道地区協議会における運動、活動を各ブロックに伝播する。

■副会長(会務担当副会長)

会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
室長・委員長及び諸会議を掌握し、本協議会の目的達成に必要な事業の推進にあたる。

会長の目指す組織の在り方を理解し、各担当の事業の方向性や業務執行の管理を行う。
過去の経験を活かし、室長・委員長の事業運営の助言を行う。

担当する委員会の予算の総括を行う。

各事業計画(議案)の内容を担保し、責任をもって役員会に上程する。

■運営専務

予算管理や事務局運営の管理など、適切な財産管理のための業務執行を行う。

会長及び副会長の補佐を行い、組織全体の調整役を担う。

諸文書と対外発信物の総責任者を担う。

■室長

委員長及び諸会議を掌握し、本協議会の目的達成に必要な事業の推進にあたる。

副会長と緊密な連絡を取り、委員会の業務遂行を指導・監督する。

■委員長

担当する委員会の総括責任者であり、主に副委員長の事業計画(議案)作成・構築の指導、
副委員長の事業運営・実施の指導、事業実施までのスケジュール管理、委員会運営の管理を行う。

■事務局長

運営管理室長を補佐し、会務の処理、財務会計管理、対外折衝など涉外活動、各種申請書類の業務執行など事務局を統轄する。
対外折衝の窓口業務を行い、担当委員会に業務執行を依頼する。

■総務

各委員会の各事業計画(議案)の誤字脱字の指摘などの議案の体裁の管理を行う。

北海道地区協議会の会員会議所会議、正副会長会議、役員会など会議設営を行う。

■広報渉外

会長のセクレタリー業務を行う。

■事務局

各委員会の各事業計画(議案)の予算書、コンプライアンスの管理を行う。

本会や他団体など対外折衝の管理を行い、各委員会と連携を図る。

対外折衝の窓口業務を行う。

本会計予算、事務局備品など北海道地区協議会の財政管理を行う。

■委員会副委員長

委員長を補佐し、事業計画(議案)の作成、構築を行う。また、事業運営・実施を行う。

■委員会幹事

委員長を補佐し、委員会運営の会計管理を把握すると共に、副委員長を含むフォロワーメンバーのチームビルディングを行う。

■委員会フォロワーメンバー

副委員長を補佐し、運動の物理的支援並びに事業計画(議案)作成・構築の一助を担う。